



米国大学留学生・研究者の 学修・研究の継続を大阪大学が支援します —医学系研究科では6億円以上の自己財源により 100名程度の研究員受入れ体制を構築—

【記者発表:5/29(木)11時~@中之島センター およびオンライン】

❖ 概要

大阪大学は、アメリカ政府による留学生受入れ停止措置等の急速な政策変更等により、アメリカの大学における学修あるいは研究活動の継続が難しくなった留学生・研究者を一時的に受け入れ、学修・研究が継続できる場を提供する方針で、支援内容の具体化を進めています。

具体的な支援内容としては、困難に直面する米国大学関係者及び留学生・研究者のご意見を伺い、また米国政府等の動きも注視しながら、現在のところ未決定ですが、大阪大学全体として以下の内容を可能な範囲で実施できるよう、検討しております。

- ◆ 大阪大学所属の留学生・研究者としての身分の保証(受入れ)
- ◆ 渡航に必要な手続き等サポート
- ◆ 学費の免除(学生のみ)
- ◆ その他、学修・研究を維持するために必要なサポート

詳細については迅速に検討・決定し、追って本学ウェブサイト等で公表・周知いたします。

また、米国大学に所属する留学生・研究者自身の学修・研究の実際の状況を大学として把握しながら、可能なかぎり個別の事情を勘案した丁寧な支援対応を進めていきます。

「地域に生き世界に伸びる」をビジョンに掲げ、DE&Iを推進する大阪大学は、世界中のどのような地域であっても、教育・研究・社会課題解決の取り組みが止まることのないよう、全力を尽くして参ります。

❖ 医学系研究科における取組みについて

全学的な支援の動きと併せて、本学医学系研究科では独自に、アメリカに滞在することが難しくなった研究者を対象に、国籍を問わず、以下の支援を準備しています。

- ◆ 自己財源を約6~10億円準備し、最大100名程度の博士研究員受入れ体制構築を決定
- ◆ 博士研究員受入れについては、国際公募を実施予定

本件のうち、特に医学系研究科による取組み内容について、5月29日(木)11時から、大阪大学中之島センターおよびオンラインにて記者発表を行います。ぜひともご取材くださいますようお願いいたします。

【石井 優 医学系研究科長のコメント】

世界中から優れた頭脳が集まるアメリカでいま大変なことが起きています。素晴らしい研究が継続されないことは人類全体の損失と言えます。この世界的な科学の危機に対して、大阪大学大学院医学系研究科では、最大 100 人程度の研究者をお招きする自己財源を確保しました。これは、未来の学術的・国際的発展のために大切なことと考えています。

アメリカの研究者の皆さん、安心して最先端研究に取り組める環境を提供します。私たちとともに、ここ大阪大学で共に科学の未来を切り拓きましょう。

❖ **医学系研究科による取組み内容に関する記者発表のお知らせ**

大阪大学による支援対応のうち、医学系研究科による最大 100 名程度の博士研究員受入れに関しては、5月29日(木)11時から大阪大学中之島センターにて記者発表(オンサイトとオンライン)を行います。**是非とも取材方よろしくようお願い申し上げます。**

発表者 : 大学院医学系研究科 石井 優 研究科長
開催場所 : 大阪大学中之島センター6階セミナー室(Rm#6D)
スケジュール: 11時00分~11時20分 支援内容報告
11時20分~12時00分 質疑応答

※5月29日(木)9時までに下記登録フォームに申請願います。

○申込先のリンクとQRコード

<https://forms.office.com/r/UE3qFyDMqy>

○Zoom Invitation

<https://zoom.us/j/96824814794?pwd=VCySbbMktH60BaH98eOpE7FmnsP2jx.1>

ミーティング ID: 968 2481 4794

パスコード: 150162

【会場】

大阪大学中之島センター 6階セミナー室(Rm#6D)

大阪市北区中之島4丁目3-53

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>

『医学系研究科では6億円以上の自己財源により100名程度の研究員受入れ体制を構築』に関する記者会見の参加



